

様式 13

会派視察研修計画書

令和元年 10 月 2 日

碧南市議会議員 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	大竹敦子	
日時	令和元年 11 月 1 日（金）	
視察先	静岡県 藤枝市	
研修内容	精神障がい者のテレワークの取り組みについて	
日程	<p>自家用車 こだま638号 JR東海道本線奥津行 徒歩 自宅 — 三河安城 — 掛川 — 藤枝 — 昼食 10:17 11:02/11:17 11:43</p> <p>徒歩 — 藤岡市文化センター（研修 13:30～15:30）</p> <p>JR東海道本線浜松行 こだま665号 自家用車 — 藤枝 — 掛川 — 三河安城 — 自宅 16:02 16:28/16:40 15:26</p>	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	自家用車利用 <u> 1 </u> 台 所有者名（ 大竹 敦子 ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

様式14

会派視察研修報告書

令和 元年11月11日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 1人 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	大竹敦子
日時	令和 元年11月 1日（金）
視察先	静岡県 藤枝市
研修内容	精神障がい者のテレワークの取り組みについて
視察先面会者 又は講師名等	健康福祉部 自立支援課 種本 誠 課長 一般社団法人 静岡障害者就労企業交流会 福田 次朗 代表 油井 ふく子 理事
備考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修成果報告書

令和 元年 11月 11日

議員氏名 大 竹 敦 子 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 元年 11月 1日（金）
- 2 視察先 静岡県 藤枝市
- 3 視察の種類 先進地視察
- 4 視察の成果等

藤枝市では、障がい者の雇用を推進する中で出てきた課題として、交通手段と企業で障がい者の方を雇用する場合の指導員を置かなくてはならない事がネックとなることが分かった。その対策として、市として「藤枝市障害者テレワークオフィス支援事業」を創設し、障がい者を対象としたテレワークオフィスを実施する法人に対して支援を行うこととした。現在、一般社団法人 静岡障害者就労企業交流会に対して支援し、障がい者の雇用を推進している。

補助金額は、1事業所に対して、月10万円の経費を見込み、その12か月分120万円の2分の1にあたる60万円を補助する。

今回、選定することとなった法人「静岡障害者就労企業交流会」は、交通の便の良い駅前であり、企業に雇用契約された障がい者がこのテレワークオフィスで企業からのPCを使った仕事をするというもので、職場の環境は、障がい者にあった落ち着いた環境を設定し、好きな時に休憩もできるようになっており、無理なく仕事ができるよう配慮されている。オフィスには社会福祉士などの資格を持った相談員が支援員として常駐しており、障がい者の見守りをしている。支援員は企業との連絡調整として報告書を作成し、連携を図る仕組みになっている。また、このオフィスでは、毎日のセルフチェックシートにより、一人一人の健康状態も管理されている。

オフィスを立ち上げた経緯としては、代表者が長年、企業の中で携わってきた障がい者雇用の難しさを感じ、その経験を生かしてのオフィスの立ち上げであり、それが、市の意向ともマッチしたようだ。

オフィスの経営としては、企業との雇用契約を結ぶことにより、社員となった利用者のオフィス利用料として申込金1万円、月額利用料6万円から8万円、その後、自社勤務または在宅勤務になった場合、その移行時に6万円または8万円となっている。企業

としても、障がい者を雇用することにより、国より助成金が支払われ、「障害者雇用促進法」により所定の人数の雇用に満たないと納付金を納めなければならない。それを考えるとこれらの利用料は高くないという見解である。

利用者も、一度は、企業に務めた経験があるが人間関係の問題から引きこもりとなるなど、仕事のスキルはあるが人間関係で躓き、不就労となった人たちには、最適な環境になっている。また、そうした技術を持たなくても、技術を習得して就職に結び付けたという障がい者の方も利用できるようになっている。

課題としては、オフィスの利用者にどのような仕事を任せられるかということ、企業秘密の漏洩などの問題で企業とのマッチング難しい。そのために、企業の理解を得るための企業向け説明会の開催などにも力を入れている。

碧南市においても、窓口の相談員を充実させるなど障がい者の就労支援に力を入れていただいていると思うが、障がい者の特徴に合わせたその先の就職先へのアプローチなど具体的な方策に乏しさを感じる。企業の開拓や障がい者の就職の壁となっている交通手段の解消、職場環境の調整などその対策について藤枝市の取り組みはとても参考になると思う。ぜひ、検討していただくよう期待するものである。